

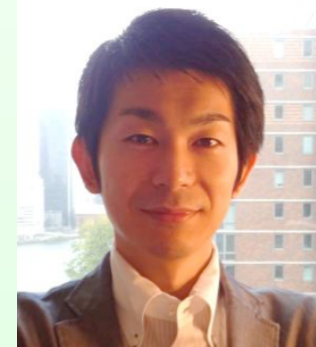
北海道大学病理専門医研修プログラム

北大腫瘍病理(第28回)・(公財)札幌がんセミナー ジョイントセミナー
(北大病理専攻医教育セミナー)

NGSを用いたがん研究と クリニカルシーケンスの現状と展望

東京大学大学院医学系研究科
ゲノム医学講座

特任助教 **高阪 真路先生**



高阪先生は北大腫瘍病理の大学院博士課程修了後、米国Memorial Sloan Ketteringのclinical sequenceの第一人者Marc Ladanyi博士のもと、がんのトランスレーショナルリサーチに従事(Kohsaka, S., et al. *Nat Genet*, 2014)。帰国後は東大の間野研にてNGSを用いたがん研究に従事するとともに(*Nat Genet*, 2016)、本年度より東大病院で開始されたがん医療のクリニカルシーケンスを進めている。本講演では、NGSを用いた最先端のがん研究と、がん医療としてのクリニカルシーケンス/パネル検査の現状と展望についてお話頂きます。

日時:2017年11月17日(金)18:00~19:00

場所:北海道大学医学部フラテホール(北15西7)

主催:北海道大学大学院医学研究院腫瘍病理学教室 田中 伸哉、公財・札幌がんセミナー お問い合わせ:北大腫瘍病理 津田
共催:日本病理学会北海道支部、北海道癌談話会
Tel: 011-706-5053
email: tsudam@med.hokudai.ac.jp